

# わがまちの家計簿

九月三日(二十八日)に開かれた市議会九月定例会で、市の平成十八年度決算が認定されました。決算とは、皆さんの税金や国・県からの補助金などが市にどのくらい入り、どのように使われたのかという『市の家計簿』のこと。伊豆の国市の昨年度一年間の家計のやりくりをお知らせします。

問合せ 財政課  
電話 055 948 1414

**歳入**  
市民1人あたり  
平成17年度 36万1,575円  
平成18年度 32万7,979円

**歳出**  
市民1人あたり  
平成17年度 35万936円  
平成18年度 31万914円

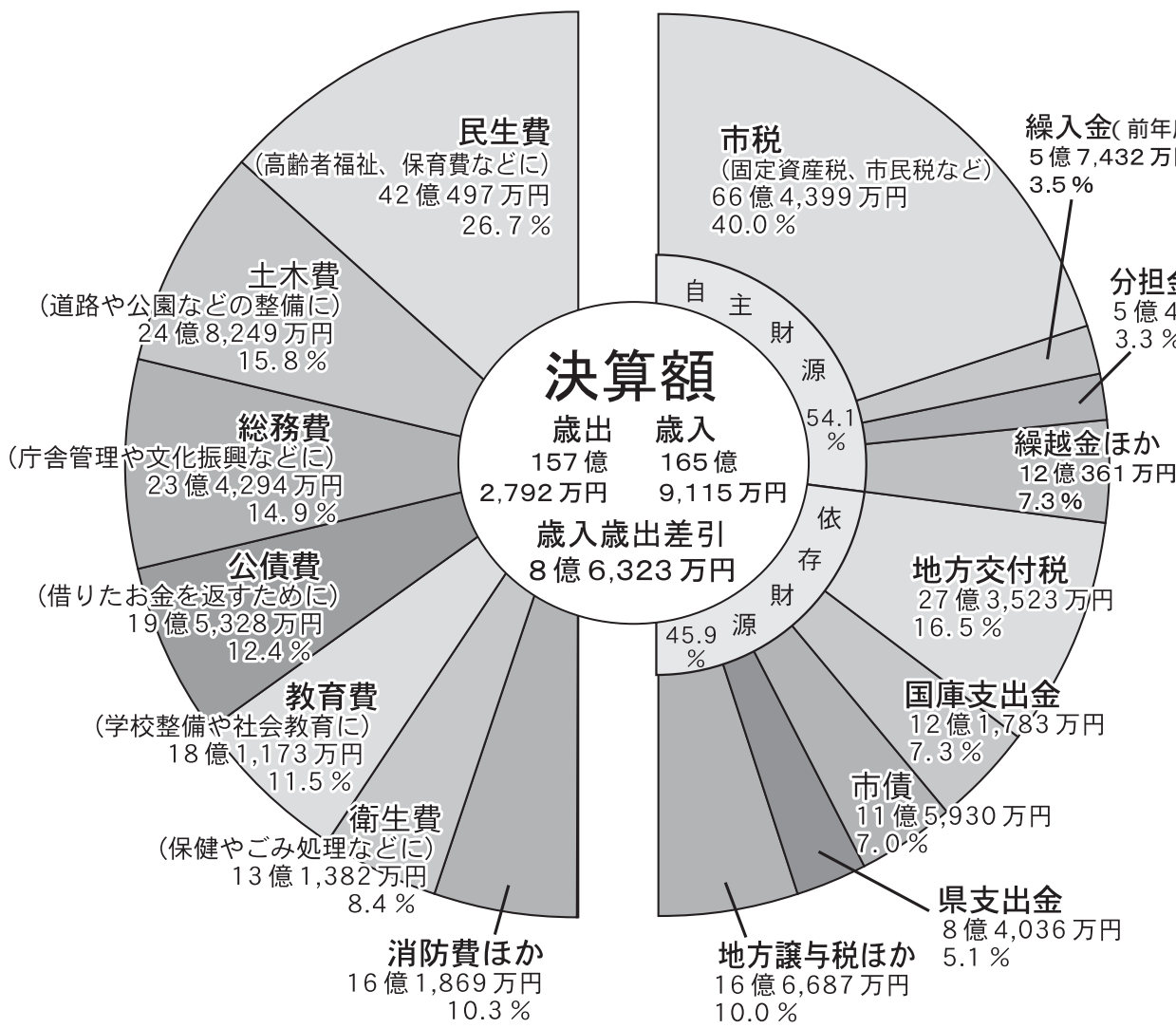
## 一般会計

市民一人あたりの行政経費

民生費	8万3,125円
土木費	4万9,075円
総務費	4万6,316円
公債費	3万8,613円
教育費	3万5,815円
衛生費	2万5,972円
消防費ほか	3万1,999円

市民一人あたりの市税負担額

固定資産税	6万9,026円 (34億9,177万円)
市民税	5万1,223円 (25億9,119万円)
分担金・負担金(保育料・給食費など)	5億4,964万円 3.3%
市たばこ税	7,032円 (3億5,570万円)
入湯税	2,465円 (1億2,468万円)
軽自動車税	1,594円 (8,061万円)
特別土地保有税	0.8円 (4万円)



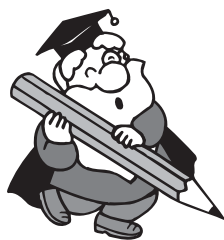
\*対象人口(住民基本台帳) 平成17年度末 5万768人  
平成18年度末 5万586人

### 財政メモ

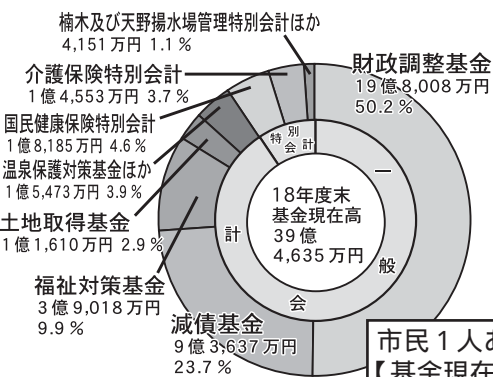
この記事のむすかしのこぼれ  
**自主財源**  
地方自治体が自らの手で徴収、または収納できる財源のこと。地方税、負担金、分担金、使用料、手数料、などがあります。

**依存財源**  
収入にあたって、国・県の関与を受ける財源のこと。地方交付税や国庫支出金、県支出金、市債などがあります。

**特別会計**  
下水道や国民健康保険などの特別な事業を実施するために設けた会計。

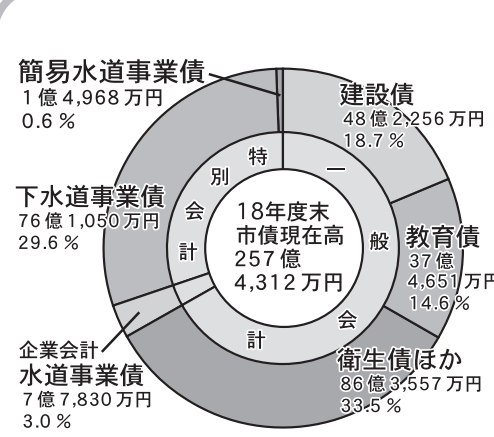


**基金の状況**  
貯めているお金の現在高  
基金とは、特定の目的や年度間の財源調整のためにお金を貯めておくことです。



市民1人あたりの預金残高【基金現在高】  
**7万8,013円**

	歳出	歳入
【特別会計】		
国民健康保険特別会計	50億7,936万円	51億5,797万円
老人保健特別会計	38億4,831万円	38億8,275万円
介護保険特別会計	24億8,345万円	25億6,645万円
簡易水道等事業特別会計	3,447万円	3,610万円
下水道事業特別会計	16億4,216万円	17億1,336万円
楠木及び天野揚水場管理特別会計	3,249万円	3,588万円
土地管理特別会計	2,277万円	2,277万円
【公営企業会計】		
上水道事業会計 収益的	5億904万円	6億8,303万円
資本的	2億3,014万円	0万円



**市債の状況**  
借りているお金の現在高  
市債とは、大規模な施設の建設や土木工事の資金調達する手段として、国や銀行などから長期にわたって借り入れることを指します。

市民1人あたりの借入金残高【市債現在高】  
平成17年度 52万2,619円  
(265億3,231万円)  
平成18年度 50万8,898円  
(257億4,312万円)